

作成日 2018 年 4 月 3 日

乳腺超音波検査を受けられる方へ 乳房非腫瘍性病変におけるカラードプラに関する研究協力のお願い

【研究の概要】

近年、日本において乳がんは増加傾向にありますが、乳がんは早期に発見できれば治る可能性が高い病気です。超音波検査は、乳がんを早期に発見するためには重要な検査の一つです。超音波検査では血液の流れ(カラードプラ画像)も見ることができますが、カラードプラをどのように評価して診断の参考にするべきかはまだ明らかではありません。そこで全国のいくつかの病院が協力をしてカラードプラの評価法と診断に対する有用性を検討することになりました。この研究によって、少しでも多くの乳がんの早期発見が可能になり、有効な治療につながることを、私たち共通の願いです。

【研究の対象】

- 2018年4月から2020年6月(予定)の間に、乳房の超音波検査で乳房に非腫瘍性病変が認められカラードプラ動画画像を記録した方
- 2016年1月1日から2018年3月の間に、乳房の非腫瘍性病変に対してカラードプラ動画画像を記録した方

【研究に用いる試料】

超音波検査の結果(画像)と病理検査の結果

【外部への情報提供】

当院で責任を持って個人を特定できないような形に加工したデータを東北大学に提供し、そこで厳重に管理されます。

【研究組織】

日本乳腺甲状腺超音波医学会(JABTS)の用語診断基準委員会および東北大学が共同で行なう研究で、全国の多施設(予定 20 施設)共同で行ないます。

この研究は、当院で通常行なわれている検査の結果を集計するもので、研究に協力することによって皆様に特別な危険や負担をおかけするものではありません。

又、この研究の対象となられる方で「ご自身の検査結果を提供したくない方がいらっしゃいましたら、ご遠慮なく担当医師までご連絡下さい。

なお、今回の研究に協力しないことによって、当院での診断・治療において不利益を被ることはいっさいありません。

【問い合わせ先】

社会医療法人景岳会 南大阪病院 乳腺外科 中谷 守一
〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 1 丁目 18-18
Tel: 06-6685-0221(代)